

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

全国会議ニュース



2024年3月21日発行 (No.32) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

<https://www.f-zenkoku.net/>

労務管理研修 応用編

「ハラスメントのない職場実現に向けて」(報告)

お互いを尊重しあう職場環境づくりは人権尊重の福祉実践をおこなう上で不可欠で、社会福祉法人の経営者・管理者にとって大きな課題です。南大阪法律事務所の弁護士、西川大史先生の講義では、参加者からの事前質問も反映していただき、具体例と一緒に考えながら理解を深めることができました。

最初にパワハラの基本を押さえた上で、使用者の責任について確認しました。使用者には職場環境配慮義務があり、実際にパワハラが生じた場合、加害者の責任はもちろんのこと、使用者の責任が問われます。最近には特に使用者側の対応に社会の厳しい目が向けられています。未然防止策の構築と起こった場合の適切な対応が重要です。

- ① 職場の全ての人を対象に定期的な研修を実施
- ② 相談体制の整備 多様な人選が望ましいが、事業所の性質や規模に応じて行う。
- ③ 起こった際の迅速かつ適切な対応 プライバシーへの配慮も必要

後半は、カスタマーハラスメントについて学びました。従業員を守り、適切な対応をとることが事業主の責任です。西川先生は、事業主が責任を認識し、しっかり対策・対応をとることにより、人の命が失われる事態を防ぎ、被害者だけでなく、事業主や事業そのものを守ることに繋がるとお話をいただきました。

*参加者からの質問にも答えていただきました

相談1 介護事業所における利用者から職員への差別的な言動への対応

職場調査により事実を確認したため、職員を守る立場から加害利用者には別の利用先を紹介した上で、利用停止の措置をとったケース。

アドバイス▶介護事業所でのカスハラは命にも関わること。事業者としては心苦しいことだが、調査の上での毅然とした対応は、職員を守るとともに当該利用者にとっても間違いではないでしょう。

相談2 複数の職員が産休・育休をとる中、別の職員が妊活を希望した際の対応

アドバイス▶事業所が職員に妊活を延ばすよう伝えることは、まさしくマタハラにあたる。子どもを産み育てること

は他の何事にも代えられない大事なこと。妊娠・出産を契機に不利益を与えることはできません。

相談3 セクハラのあるが、相手方へは伝えないでほしい

加害者に自覚がなく、法人が指導することが難しい。アドバイス▶このようなケースは多い。被害者を「身勝手」扱いするのは絶対 NG。被害者に配慮しつつ、職場全体向けにアナウンスや研修を行うことや、他事業所の事例として注意喚起するのが効果的。

社会福祉経営全国会議 研修委員会
大阪福祉事業財団 勝原祐子

◆◆◆ 労務管理研修 基礎編は12月20日に行い、特定社労士の井村佐都美先生から「労務管理の基礎」について講演をいただきました。延べ50名の参加で成功しました。井村先生、ありがとうございました。

2024年度・管理職養成学校！

2024年度管理職養成学校の募集が4月1日から始まります。受付期間は4月末までです。

- ・開校式 8/22(木) オンライン
- ・第1講義 9/19(火) オンライン
- ・第2講座 10/24(木) オンライン
- ・第3講座 11/21(木)～22(金) 一泊研修
- ・第4講座 12/19(木) オンライン
- ・第5講座 1/30(木) オンライン

●募集定員 24名

詳細は、
ホームページに
掲載されています！

政府交渉(社会福祉事業)4月8日

障全協総会・中央行動の一環として行われる政府交渉の中で、「社会福祉事業」交渉を全国会議が担当をします。多数のご参加をお願いします。

主な要望項目は、1. 能登半島地震、2. 2024報酬改定、3. 障害相談支援事業の取扱い、4. 子ども誰でも通園制度、5. 子育て支援のための財源確保、6. 配置基準の改正、7. その他処遇改善について

詳しくはホームページをご覧ください！
<https://www.f-zenkoku.net/topics/1926/>

第1回(2023年度) 経営職ゼミナール無事終了しました！

2月1～3日経営職養成集中ゼミナールが名古屋で開催されました。全国から12名の受講生が集まり、スタッフ含め総勢20名の方が学び、語り、刺激をしようゼミナールとなりました。

一日目の浜岡講義では「権利としての社会福祉」「その社会福祉の経営者とはいかなるものか」を突き詰め考える一日となり、二日目の施設見学と名南病院名誉副理事長の早川講義を通じて「無差別・平等」の実践、地域の願いに応えながらの事業展開とその歴史に学び、三日目の集大成となる石倉講義「まなざしとしての社会福祉」、受講者の経営実践報告、グループワーク。切実でいて高い視点・広い視野での議論が飛び交う濃厚な三日間となりました。

全国会議として初企画の研修でした。今回を土台として次年度もより充実したゼミナールを準備したいと思います。



2024年度 定時社員総会 ご案内

日時: 2024年5月31日 10時より15時まで
会場: ウィンクあいち (愛知県産業労働センター)
開催方法: 会場参加とオンライン参加
内容: 2023年度事業報告、2024年度取り組み方針、決算と予算、2024年度理事選出、討議など。

◆社会福祉経営トップセミナー ご案内

日時: 2024年5月30日 13時30分から17時まで
会場: ウィンクあいち (定時社員総会とは別の企画です)
開催方法: 会場参加とオンライン視聴
テーマ: 「戦争への道」をえらばないために
～戦争と社会福祉事業の歴史に学ぶ～

講演内容と講師: 「戦争への歴史から学ぶ」 瀬藤 厚氏(歴史学者)
「社会福祉事業はなぜ、どのように戦争に組み込まれたのかー歴史に学ぶ」 永岡正己氏(社会福祉学者)

参加費: 会員 8,000 円、非会員 12,000 円
障害者・要介護者および当事者と生計を一にする家族は特別に会員価格(8,000 円)とさせていただきます。
トップセミナー申込フォーム: <https://forms.gle/ioeSbMfVj8fjV9BB9>



人材確保対策部会より

・2月16日 **インスタ教室開催**、40名が参加。わかりやすいと大好評！⇒HP 会員ページに動画・資料 UP
・3月10日 **「第1回就職フェア・夢をかなえる福祉のひろば」開催**。
最大で151アカウント参加、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。
私たちの仕事は社会福祉の仕事だと再確認し、みんなで福祉の仕事を考える学びのフェアとなりました。
1部、2部は、障害・高齢・保育の職場から心に響くメッセージ動画、「福祉の仕事ってなんだろう？」をテーマにした職員劇の動画が素晴らしかったです。3部はみんなで夢かなを体験するという第一歩を踏み出したことに意味があると思っています。次への工夫や期待がふくらむ第一回となりました



能登半島地震・支援募金 ご協力！ありがとうございました！

2024年1月1日に能登地方の大地震がおき、多くの方が被災されました。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被害を受けられた方々には一日も早く安心した生活がおくれるようになり、事業の復旧がなされることを祈念しております。
全国会議としても早々に「支援募金」を訴え、多くの福祉関係者の方からご協力をいただきました。
ご支援いただいた方には改めてお礼を申し上げます。お預かりしている募金 1,516,999 円(3月20日現在)は現地で支援拠点を作り活動されているきょうされんと、被害の大きかった能登半島 3市3町(珠洲・輪島・七尾・能登・穴水)にお届けします。4月に全国会議として現地視察と支援の実施を予定しています。

